

0歳児の子どもの育ち

0歳児の姿

様々な運動機能の発達

- 手の操作性が高くなり「握る」「いじる」「つまむ」「手を打ち合わせる」などの動きをしようとする。
- 腹這いで体の前に手をつけて「上体を反らす」「寝返りをする」などの動きをしようとする。
- 探索活動が盛んになり、「這い這いで動き回る」「つかまり立ちをする」「伝い歩きをする」などの様々な動きをする。

視覚、聴覚など感覚の発達

- 「物をじっと見る」「動くものを追う」「手のひらに触れたものをつかもうとする」など、目や手を活発に動かしている。
- 膝の上に立たせると「足を突っ張る」「ぴよんぴよん跳ねる」などの動きをする。

0歳児の動きと遊具

トンネル

発達が見込まれる動作

- ① ハイハイでくぐる
- ② 寝そべる
- ③ トンネルをつかむ、ゆらす、たたく



ボール

発達が見込まれる動作

- ① 転がっているボールを追いかける
- ② 両手でボールを持ち歩く
- ③ 転がす



ウレタンマット

発達が見込まれる動作

- ① 四つん這いで段差を昇り降りする
- ② ゴロゴロ転がる
- ③ ピョンピョン跳ねる



吊るしメリーゴーランド

発達が見込まれる動作

- ① ゆれるモビール等を追視する
- ② ぶらさがっている物をつかもうと、手を伸ばす



遊具と子どもの姿

01

トンネル

はう



トンネルを抜けた先には微笑む保育者の顔が見える。

ゆらす



嬉しいことや楽しいことを目と目をあわせて一緒に喜び、共有する保育者の存在が必要。

02

ボール

追いかける



ボールの素材や大きさによって子どもが感じる感覚や感触も異なる。

転がす



一緒に追いかけたり転がしてみても、感じたことを言葉で伝えてみよう。

03

ウレタンマット

つかむ



限られたスペースを上手に利用して、室内でも体を動かすことを楽しめるようにする。

座る



ウレタンマットの組み合わせ方や置き方を変えると引き出される動きも変わってくる。

04

吊るしメリーゴーランド

手を伸ばす



子どもと同じ物を一緒に見ることは子どもの思いや興味を理解する行為。「子どもになってみる」を心がける。